



令和3年度 相談支援従事者現任研修
(R3.7.29)

社会資源開発について

社会福祉法人 四恩会
サポート・アメニティ あらいぶ
管理者 前川 直樹

本日の研修目標・獲得課題

（目標）

具体的な地域課題を知ることで、相談支援専門員が地域づくりに関与する重要性について理解を深める。

（獲得課題）

- ① 今、実際に行っている活動や身近な取り組みからはじめられることがないか模索することを通し、自分たちが取り組める「社会資源開発」を考える。
- ② 具体的に何の目的で誰が何をするのか明確にすることで、実現可能であることを理解する。

タイムスケジュール

- 9:25～ 9:35 オリエンテーション
- 9:35～11:20 講義 I・II
- 11:20～12:20 昼休憩
- 12:20～14:10 演習 I (課題発表)
演習 II (社会資源開発プラン)
- 14:10～14:30 グループ発表・まとめ
- 14:30～14:45 休憩
- 14:45～15:35 演習 III (感想、相談支援専門員とは)
- 15:35～16:05 グループ発表
- 16:05～16:20 まとめ

なぜ社会資源の活用が重要なのか

地域での暮らしとは

- なじんだ自然や地域の中で
- なじみのある人との関係の中で
- なじみの家や物の中で
- なじみの生活スタイルで

『私らしく生きたい』

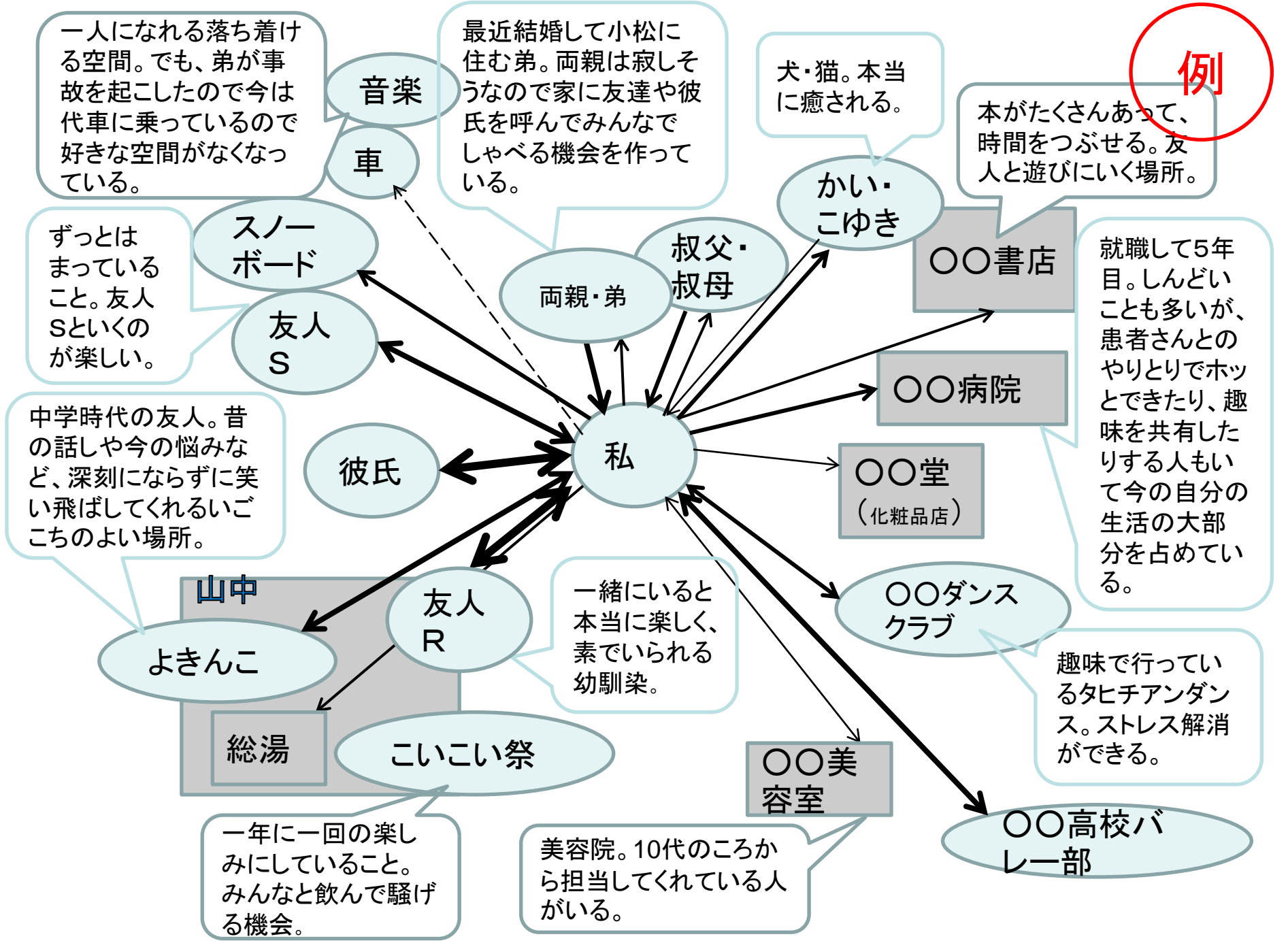
ご本人の人の安心・力の発揮の舞台は町(重度の人こそ)

* 豊富な資源を本人はもっていた、今も周囲にある

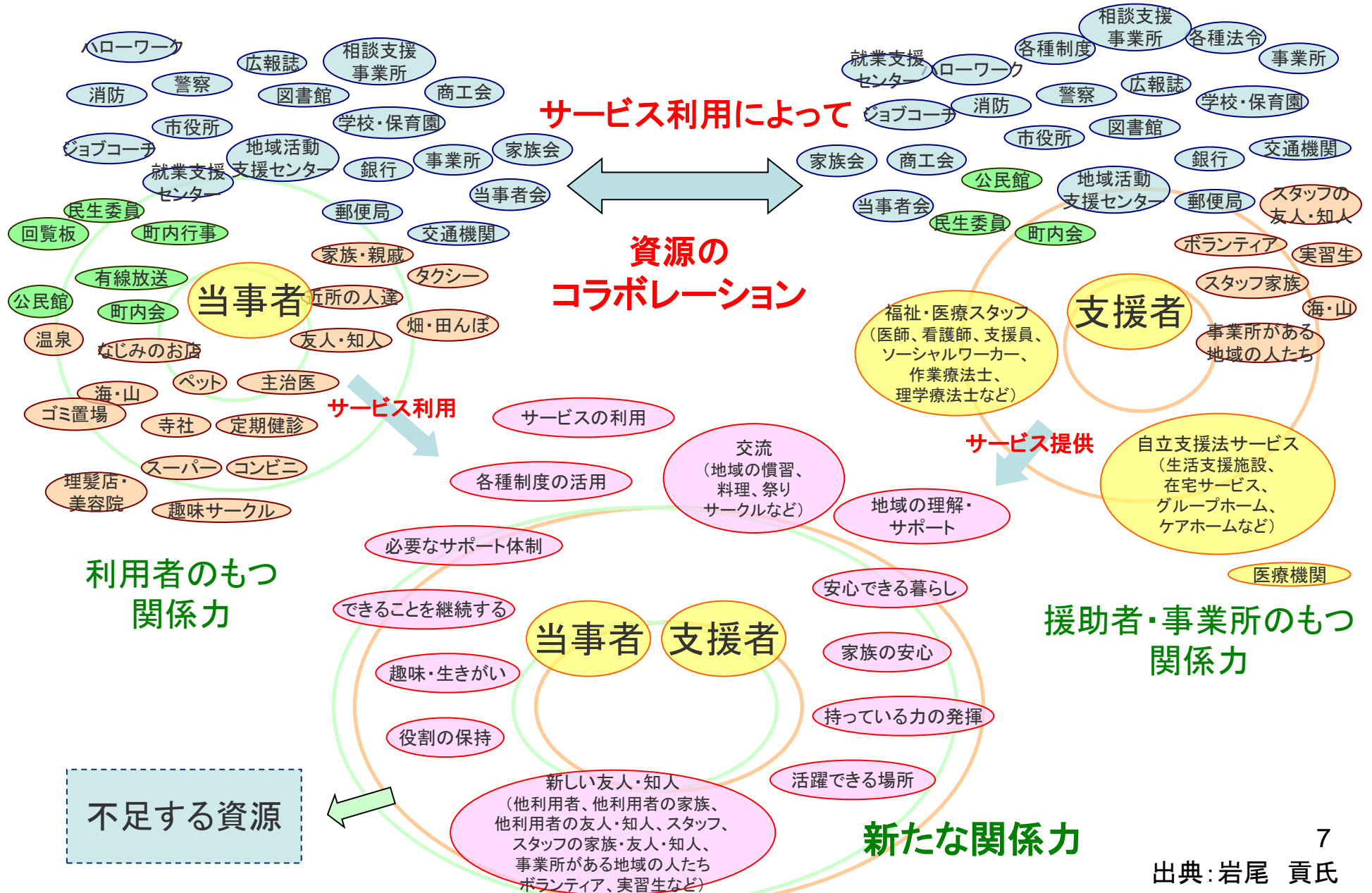
- (1) その人が、過ごしていた馴染みの場所で過ごすチャンス
散歩、外出、外食、知人宅、美容・理髪、医療、お寺、図書館、娯楽
町の風景→風景・自然がご本人を癒してくれる
- (2) その人らしさを新たに伸ばす地域の場や仲間の開拓を
 - ・働き場所:草取り、農作業、手仕事、力仕事など
 - ・地元の知恵袋としての活躍場
学校、乳幼児や若いお母さんたちと、地元史グループ等
 - ・町の楽しみ場、趣味の場:「ここに来てからが人生で一番楽しい」
 - ・ほかのケア関係者仲間等と親戚のような付き合い
- (3) 町にでての安心を見守り支える人々の広がり
近隣者、買い物先、警察、消防、交通機関、町のスポット(コンビニ等)

町にすでにある多様な資源の力を借りる、活かす、共につくる

例



社会資源の活用(資源のコラボレーション図)



演習 I (12:30~13:15)

- ① 「地域課題と取り組みシート」を用いて、みなさんが行ってきた内容を共有してください(40分)

※画面共有を行い、報告して下さい。

- ② 誰の事例を選定するか、みんなで決めてください。(5分)

※「地域でやりたいこと」が似たような人がいても、必ず誰か一人の事例を選んで下さい。(より現実的・具体的に考えるため)

自分がやりたい！と思うことだけでなく、当事者にとって・地域にとってどのような意味があるのか？という視点で

ポイント！



演習Ⅱ (13:25～14:10)

選定した事例について、現実的にどのように動いていけばいいかプランを立ててください。(45分)

- プランは、「当事者にとって」「地域にとって」意味があるかを考え、より具体的に立てるよう心がける。
- 選定された人の「今している活動」で、できることを考えるだけでなく、
- 他の人がしている活動で参考になるようなものはないか？
- 他の人が知っていることで活かせるものはないか？

等、さまざまな視点で検討し、プランをたてる(プラン用紙に記入していく)。

ポイント!

できることから進めるプランにしよう!
今ある社会資源からヒントをもらおう!
当事者や支援者の「関係力」から考えてみよう!



社会資源開発プランシート（例）

○私が地域でやりたいこと

肢体不自由の当事者会の高齢化に伴い、活動への参加が減っているので、新規メンバーを増やしたい。

○なぜ、それが当事者や地域にとって重要ですか？どんな効果がありますか？

当事者活動が活発になることで、当事者のエンパワーメントが高まる。将来的に福祉行政等に当事者が参加することも可能になる。

地域に広くメンバー募集を募ることで、地域住民に障がい者の理解を広がり、障害の正しい理解につながり、障がいの有無に限らず、住みやすいまちに近づくと考える。

実現するために何をしますか？ (なるべく短期的で具体的なステップ)	誰がしますか？ (実行する人)	いつ達成しますか？ (達成の期日)
活動の魅力、参加しやすい日時、場所、移動手段等について話し合う	当事者会メンバー	平成30年9月第3火曜
新規メンバーの募集の広報委員を結成し、メンバー募集の方法を検討する。	委員会メンバー	平成30年10月第1火曜
活動内容とをまとめた企画書等を作成する	委員会メンバー	平成30年10月第3火曜
市の障害担当者に理解を求め、広報誌やCATV等での募集の掲載、放送の依頼をする。	委員会メンバー 市の障害担当	平成30年11月第1火曜

演習Ⅲ（14:45～15:35）

研修全体の感想や気づきを話し合ってください。

- ① 研修を通し、あなたはどのような相談支援専門員等の対人援助職になりたいと思いましたか。また、あなたや所属機関が地域から求められていることは何か、どんなことを大事にしていかないといけないのかを話し合ってください。（30分）
- ② グループで出た意見を、「相談支援専門員とは（仮）」をテーマに100文字でまとめる。（20分）